

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島県企業局 広島水道事務所 東海田第1・第2ポンプ所

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町東海田

(3) 業種

水道業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30（2018）年度を基準年度とし、令和元（2019）年度から令和5（2023）年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)		目標年度		計画期間の実績							
	平成	年度	上段：見込量 (b)	下段：削減率 (c)	（上段：実績排出量 (d), 下段：削減量の対基準年度比 (e)）		平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0		平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0		平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
メタン			0.0		平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
一酸化二窒素			0.0		平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
その他温室効果ガス			0.0		平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
温室効果ガス実績排出量総計			0.0		平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
温室効果ガスみなし排出量												
実績に対する自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度		計画期間の実績						
	平成30年度		上段：目標 (b)	下段：削減率 (c)	（上段：原単位実績 (d), 下段：削減量の対基準年度比 (e)）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	0.4400		0.4200		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			-4.6		-0.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
メタン			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計	0.4400		0.4200		0.4420						
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.2029		-4.6		-0.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)			0.1929		0.2036						
削減率(c)			-4.9		-0.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する自己評価	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (エネルギー消費原単位)について、運転時間帯の変更等により効率的な運転に努めたが送水量の減少により年平均1%以上の改善には至らなかった。										

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	省エネルギー化の推進	エネルギー消費原単位：年平均1%（5カ年計画で5%）削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率機器の採用</li> <li>・運転管理による使用エネルギーの削減</li> <li>・高効率運転方式の採用</li> </ul>
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。